

令和5年1月31日(火)

授業者 教諭 大野菜々子

AET 永瀬舞鈴

1 単元名 My Future, My Dream ～中学校生活に向かって夢スピーチをしよう～

(NEW HORIZON Elementary English Course 6 Unit 8)

2 単元の目標

進学予定の中学校の先生方に、自分のことをよく知ってもらうために、中学校で頑張りたいことなどについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。また、例文を参考に、中学校で頑張りたいことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

3 関連する領域別目標

話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<p>【知識】 中学校で頑張りたいことなどを伝える英語表現【I want to join ～. I want to enjoy ～. I want to study ～. I'm good at ～. I want to be ～.】及びその関連語彙などについて理解している。</p> <p>【技能】 中学校で頑張りたいことなどを伝える英語表現【I want to join ～. I want to enjoy ～. I want to study ～. I'm good at ～. I want to be ～.】及びその関連語彙などを用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p>	<p>進学予定の中学校の先生方に、自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、自分の考えや気持ちなど伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p>	<p>進学予定の中学校の先生方に、自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、自分の考えや気持ちなど伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。</p>
書くこと	<p>【知識】 中学校で頑張りたい部活、学校行事、教科や、将来の夢などに関する英語表現について理解している。</p> <p>【技能】 中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に、自分の考えや気持ちなどを書く技能を身に付けている。</p>	<p>進学予定の中学校の先生方に、自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、構成や文の順番を意識して書いている。</p>	<p>進学予定の中学校の先生方に、自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、構成や文の順番を意識して書こうとしている。</p>

5 基盤

(1) 教材について

本単元は、教科書の最後の単元であり、4月からの中学校生活について考えたり、1年間の学習を振り返ったりすることができる単元である。また、スポーツや職業など、これまでに学習した語句や基本的な表現を総合的に活用しながら取り組める単元でもある。本単元終末では、自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活で頑張りたいことなどについて、理由を加えながら進学予定の中学校のALTであるルーシー先生に発表する活動を行う。中学校でどんな部活に入りたいか、どんな行事が楽しみかを考えることは、児童にとって身近な話題であり、期待感とやる気をもって取り組める内容だと考える。

また、中学校では、「読むこと」や「書くこと」の学習も本格的に始まる。そこで本単元では、「発表したことを進学予定の中学校の先生方に読んでもらう」というゴールも設定する。相手意識をもつことで、書くことへの意識も高まり、丁寧に書き写すだけでなく、より伝わりやすい文を書こうと考える。

(2) 児童について

個人情報保護のため省略

(3) 指導について

単元ゴールを「進学予定の中学校の先生方に、自分のことをよく知ってもらうために、中学校で頑張りたいことを伝え、さらにe名刺にしてメールで送ろう！」と設定することで、意欲的に取り組めるようにする。

本単元では、よりよい発表につなげるため、継続的な帯活動として先生や友達と短いやり取りをする「Small Talk」の時間を設ける。その際の手立てとして、これまで学習してきた表現を整理した「英語表現お助け book」を児童一人一人に配付し、教室にも掲示する。やり取りの際に、児童がいつでも自分のタイミングで手に取り活用できるようにすることで、児童の「知りたい!」「あの表現どう言えばよかったかな?」等の思いを自分の力で解決できるようにする。

第1時には、児童たちが中学校生活に向けて期待感をもてるようにするため、進学先のALTであるルーシー先生からのメッセージ動画や中学校の部活動や学校行事などについて紹介する。その後、e名刺を使った教師の発表を見せることで、これからの学習の見通しをもたせる。さらに教科書の音声動画を視聴して、本単元で扱う英語表現の導入を行う。

第2時、第3時では、AETやデジタル教材を活用し、まとまりのある内容を多く聞かせることで表現への慣れ親しみを図る。その際に、聞く視点を与えることで、楽しい学校行事や入りたい部活動、将来の夢を伝える表現への理解を深められるようにする。その後、中学校で頑張りたいことについてタブレットを用いて友達とインタビューし合う時間を設ける。タブレットのアンケート機能を使い、インタ

ビューの集計結果を提示することで、興味をもちながら、くり返しの練習にも意欲的に取り組めるようにする。また、e名刺づくりに向け、慣れ親しんだ表現をワークシートに書き写す時間も設ける。

第4時では、フィッシュボーン図を使って、自分の考えや気持ちを整理しながら英語で伝え合う活動を行う。フィッシュボーン図は、思考を整理できるだけなく、発表時のメモとしても役立つことができるため、これまでも使用してきた。本単元でも、自分の伝えたいことの順序を書き込んだり、内容を付け足したりして、より自分のことを知ってもらえるような発表となるよう活用させたい。

本時となる第5時では、友達とのやり取りをしながら、発表内容を膨らませていく時間とする。

始めに、前時の内容を想起し、さらに目線や声の大きさ、笑顔といった伝え方を意識した発表になるよう、発表練習を行う。その後、本時のねらいをつかむために、ルーシー先生からのメールを紹介する。ルーシー先生には、第4時で撮影した児童の動画を見てもらい、「みんなのことをもっとよく知るために、部活や夢をめざす理由などをくわしく教えてほしい。」という内容のメールを本時に向けて送ってもらう。メールの内容から、本時では自分のことをよりよく伝えるために、発表内容をさらにくわしくする必要があることをつかめるようにする。

次に、教師とAETとのデモンストレーションを行い、相手から質問を受けたことをヒントにして、発表内容を詳しくしていく様子を見せる。最初の言語活動は、デモンストレーションのように、聞き手が発表者に質問をして、発表者がそれに答える形で行うようにする。ペアの相手は、既に発表内容を知っている練習時と同じペアとすることで、質問をしやすくする。中間指導では、質問しなかったけど、どのように言えばよいか分からなかった表現や答え方などについて確認し、全体で共有する。また、追加したい内容や、伝える順序を変えたいと思った際には、いつでもフィッシュボーン図に赤鉛筆で書き込んでよいことも伝える。その際は、予め掲示してある教師のフィッシュボーン図も参考にさせる。次の言語活動は、追加できそうな内容を加えて発表してみることを目標に行うようにする。中間指導では、既習表現を使って、発表内容を膨らませている児童を取り上げ、どのようなことを付け足すと、より自分のことが伝わる内容になるのか、全体で共有する。その後、伝える内容や順序を整理して発表内容を再構築する時間を設ける。最後の言語活動は、最初のペアと行い、タブレットでスピーチ動画を撮り合うことで、前時との変化により客観的に気づけるようにする。

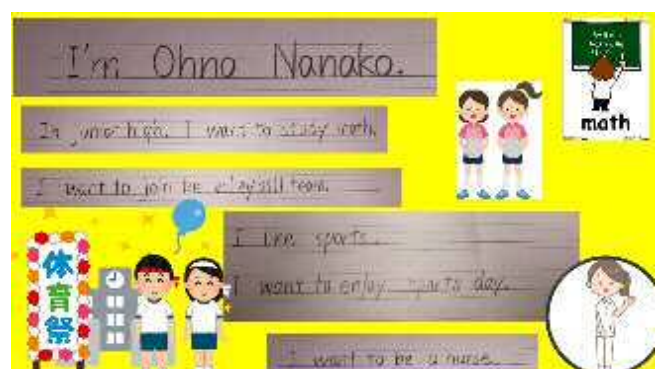
終末では、めあてについて振り返りをしたり、児童の頑張りを褒めたりして、次時の発表に向けて意欲が高まるようにしたい。

第6時では、ルーシー先生を小学校に招き、中学校生活や将来の夢などについて一人ずつ夢スピーチの発表を行う。ルーシー先生への発表は、本単元のパフォーマンステストとしての評価も行う。

第7時では、音声で十分慣れ親しんだ英語表現を書いたり読んだりする言語活動を行う。手立てとして、「e名刺」を作成する。「e名刺」は、夢スピーチで伝えた内容について、音声で十分に慣れ親しんだ表現を4線に書き、タブレットで撮影し、イラストなどと組み合わせて作成する。ただ書き写すのではなく、相手意識をもって丁寧に書けるようにする。さらに作成した「e名刺」をクラスのみならず共有し、読み合う時間を設けることで、読むことの言語活動にもつなげていきたい。

第8時では、デジタル教材を使って、世界とのつながる仕事などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深めていく。

<e名刺の完成イメージ図>



6 単元の指導と評価の計画

時	目標◆，活動○，教科書の活動名【 】	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準（方法）他
1	◆夢スピーチに向けて，中学校の部活動や学校行事などについて表す表現について分かる。				★本時では，目標に向けて指導を行うが，記録に残す評価は行わない。
	○ALT からのビデオメッセージを見て，単元ゴールを知る。 ○中学校生活や夢についてのスピーチを聞き，それらを伝える表現について知る。○単元ゴールの確認 ○【Small Talk P72】 ○【P72, 73 Starting out】 ○【Let's Chant】 ○【Let's Sing】				
2	◆夢スピーチに向けて，楽しみたい学校行事や得意なことについて聞き取ったり，話したりすることができる。				★本時では，目標に向けて指導を行うが，記録に残す評価は行わない。
	○【Let's Sing】 ○【Let's Chant】 ○【Small Talk P74】 ○単元ゴールの確認 ○【Let's Listen 1】 ○【Let's Try 2】 ○中学校で頑張りたいことについて，ワークシートに書き写す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">A: What school event do you want to enjoy? B: I want to enjoy sports day. A: Please tell me more. B: I'm good at running.</div>				
3	◆夢スピーチに向けて，中学校で入りたい部活動や将来なりたい職業について聞き取ったり，話したりすることができる。				★本時では，目標に向けて指導を行うが，記録に残す評価は行わない。
	○【Let's Sing】 ○【Let's Chant】 ○【Small Talk P76】 ○単元ゴールの確認 ○【Let's Listen 2】 ○【Let's Try 3】 ○中学校で頑張りたいことについて，ワークシートに書き写す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">A: What club do you want to join? B: I want to join the volleyball team. A: Why do you want to join it? B: I like volleyball very much.</div>				
4	◆夢スピーチに向け，フィッシュボーン図を使って伝えたいことを整理しながら，友達に自分の考えや気持ちを話すことができる。				【話すこと（発表）の記録に残す評価】 ★【知識】 中学校で頑張りたいことなどを伝える英語表現 【I want to join ～.I want to enjoy ～.I want to study ～. I'm good at ～.I want to be ～.】及びその関連語彙などについて理解している。 ★【技能】 中学校で頑張りたいことなどを伝える英語表現 【I want to join ～.I want to enjoy ～.I want to study ～. I'm good at ～.I want to be ～.】及びその関連語彙などを用いて，自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。
	○【Let's Sing】 ○【Let's Chant】 ○【Small Talk P78】 ○単元ゴールの確認 ○フィッシュボーン図を使って考える。 ○友達と伝え合う。○タブレットで撮影 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">In junior high, I want to study math. I want to join the volleyball team. I want to enjoy sports day. I'm good at running. In the future, I want to be a nurse.</div>	発			

5 本時	<p>◆夢スピーチに向け、友達とのやり取りを通して、フィッシュボーン図で自分の考えや気持ちなどを整理しながら、相手によりくわしく話すことができる。</p> <p>○前時の振り返り</p> <p>○ルーシー先生からのメールを読む</p> <p>○デモンストレーション</p> <p>○発表 I</p> <p>○中間評価・再構築 I</p> <p>○発表 II</p> <p>○中間評価・再構築 II</p> <p>○発表 III</p> <p>○タブレット撮影</p> <p>○振り返り</p>		発	発	<p>【話すこと（発表）の記録に残す評価】</p> <p>★【思考・判断・表現】 進学予定の中学校の先生方に、中学校で頑張りたいことを知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、自分の考えや気持ちなど、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p> <p>★【主体的に学習に取り組む態度】 進学予定の中学校の先生方に、中学校で頑張りたいことを知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、自分の考えや気持ちなど、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。</p>
6	<p>◆ALT の先生に向けて、中学校で頑張りたいことを夢スピーチで伝えることができる。</p> <p>○【Let's Sing】</p> <p>○【Let's Chant】</p> <p>○ルーシー先生に向けて、一人ずつ夢スピーチをする。</p>	発	発	発	<p>【話すこと（発表）の記録に残す評価】</p> <p>★【知識】 中学校で頑張りたいことなどを伝える英語表現及びその関連語彙などについて理解している。</p> <p>★【技能】 中学校で頑張りたいことなどを伝える英語表現及びその関連語彙などを用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p> <p>★【思考・判断・表現】 進学予定の中学校の先生方に、中学校で頑張りたいことを知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、自分の考えや気持ちなどを、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p> <p>★【主体的に学習に取り組む態度】 進学予定の中学校の先生方に、中学校で頑張りたいことを知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて自分の考えや気持ちなどを、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。</p>
7	<p>◆進学予定の中学校の先生方に頑張りたいことがよく伝わるような e-名刺を作成して、友達と読み合うことができる。</p> <p>○【Let's Sing】</p> <p>○【Let's Chant】</p> <p>○中学校で頑張りたいことについて、ワークシートに書き写す。</p> <p>○タブレットを使って e-名刺を作成する。</p> <p>○友達と e-名刺を交換して読み合う。</p>	書	書	書	<p>【書くことの記録に残す評価】</p> <p>★【知識】 中学校で頑張りたい部活、学校行事、教科や、将来の夢などに関する英語表現について理解している。</p> <p>★【技能】 中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に、自分の考えや気持ちなどを書く技能を身に付けている。</p> <p>★【思考・判断・表現】 進学予定の中学校の先生方に、自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、構成や文の順番を意識して書いている。</p> <p>★【主体的に学習に取り組む態度】 進学予定の中学校の先生方に、自分のことをよく知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、構成や文の順番を意識して書こうとしている。</p>
8	<p>◆世界とつながる仕事などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>○【Over the horizon P78, 79】</p>				<p>★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。</p>

7 本時の学習 (5/8 時間)

(1) 目標

夢スピーチに向け、友達とのやり取りを通して、フィッシュボーン図で自分の考えや気持ちなどを整理しながら相手によりくわしく話すことができる。

(思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)

(2) 展開

学習活動 (○) と予想される児童の反応 (・)	児童への支援 (・) と評価 (★)
<p>Warm-up (5分)</p> <p>○あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師や AET とあいさつをする。 <p>○前時の振り返り【横・縦ペア】</p> <ul style="list-style-type: none"> 笑顔, 目線, 声の大きさなど, 【伝え方】を意識して, ペアの相手に伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>In junior high, I want to study math. I want to join the volleyball team. I want to enjoy sports day. I'm good at running. In the future, I want to be a nurse.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動に見通しをもって取り組めるようにするために, 授業の流れを黒板に書いておく。 前時の内容を想起し, さらに目線や声の大きさ, 笑顔といった伝え方を意識した発表になるよう, 発表練習を行う。 机間指導をして伝え方に困っている児童がいれば, 一緒に練習するなどの支援をする。
<p>Activity (37分)</p> <p>○ルーシー先生からのメッセージを紹介する。</p> <p>○めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ルーシー先生に自分のことをもっと知ってもらうために, 友達とのやり取りを通して内容をパワーアップさせよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいである, 「発表内容について, さらに詳しく伝えてほしい。」という内容であることを確認する。
<p>○教師と AET のデモンストレーション</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>大野: In junior high, I want to study math. I want to join the volleyball team. I want to enjoy sports day. I'm good at running. In the future, I want to be a nurse.</p> <p>AET: (教科の箇所を指して) : Do you like math?</p> <p>大野: No. I'm not good at math. I want to study math hard.</p> <p>AET: (部活動の箇所を指さして) Can you play volleyball well?</p> <p>大野: Yes, I can. I can play volleyball well.</p> <p>AET: (学校行事の箇所を指さして) Please tell me more.</p> <p>大野: It's exciting.</p> <p>AET: (将来の夢の箇所を指さして) Why do you want to be a nurse?</p> <p>大野: My mother is a nurse. She is kind. My hero is my mother.</p> <p>(内容を膨らませたバージョンの発表) ※下線部が追加した内容</p> <p>大野: In junior high, I want to study math. <u>I'm not good at math.</u></p> <p><u>I want to study math hard.</u> I want to join the volleyball team.</p> <p><u>I can play volleyball well.</u> I want to enjoy sports day.</p> <p><u>It's exciting.</u> In the future, I want to be a nurse. <u>My mother is a nurse.</u></p> <p><u>She is kind. My hero is my mother.</u></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 相手からの質問を受けて, 内容を膨らませていく姿をイメージできるようにするために, 教師の発表後に AET が質問をしてやり取りをする場面を見せる。 内容を膨らませたバージョンの発表も見せることで, どのようなことを付け足すと, 相手に自分の思いがより伝わるのか, 気づけるようにする。

<p>【内容面と表現面の確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バレーが上手。⇒I'm good at～. ・運動会がわくわくする。⇒It's exciting. ・お母さんのような看護師になりたい。 ⇒My hero is～. <p>【使えるような質問と答え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Do you like～?/ I like～. ・ Please tell me more./ It's ～. I can～. ・ Why do you want to～?/ I want to ～. <p>○発表Ⅰ【横・縦ペア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表を聞いた後に、聞き手から質問をする。 ・ 聞き手に質問されたことに答える。 <p>○中間評価・再構築Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質問したかったけど、表現できなかったことなどを出し合う。 ・ 答えたかったけど、表現できなかったことなどを出し合う。 ・ 付け足したい内容があれば付け足す。 <p>○発表Ⅱ【ななめペア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表Ⅰで追加した内容を加えて発表する。 ・ 発表を聞いたあとに、聞き手から質問をする。 ・ 聞き手に質問されたことに答える。 <p>○中間評価・再構築Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フィッシュボーン図に友達から質問を受けて新たに伝えたことや、自分が付け足したいと思った内容を朱書きして加え、伝える順序を再構築する。 <p>○発表Ⅲ【横ペア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初と同じ相手に、再構築したスピーチの内容を伝える。 ・ ペア同士でタブレット撮影を行い、動画を教師に提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ AET がどんな質問をしていたかを問い、質問の仕方や答え方を教室掲示などで確認する。 <p>・ 机間指導をして伝え方に困っている児童がいれば、一緒に練習するなどの支援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間指導では、質問したかったけど、どのように言えばよいか分からなかった表現や答え方などについてクラス全体で共有し、児童が本当に伝えたい内容を既習表現と結び付けたり、簡単な言葉に言い換えたりして表現できるようにする。 ・ 追加したい内容は、いつでもフィッシュボーン図に赤鉛筆で書き込んでよいことを伝える。 ・ 追加した内容は、次の発表で加えて言うことを伝える。 ・ 机間指導をして伝え方に困っている児童がいらないか確認する。 <p>・ 中間指導では、既習表現を使って詳しく伝えている児童を取り上げる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★【思考・判断・表現】</p> <p>進学予定の中学校の先生方に、中学校で頑張りたいことを知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、自分の考えや気持ちなど、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。(行動観察、ワークシート、動画)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★【主体的に取り組む態度】</p> <p>進学予定の中学校の先生方に、中学校で頑張りたいことを知ってもらうために、中学校生活や将来の夢などについて、自分の考えや気持ちなど、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。(行動観察、ワークシート、動画)</p> </div>
<p>Review (3分)</p> <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットで振り返りを行う。 <p>○あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ めあてについて振り返りをしたり、児童の頑張りを褒めたりして、次時の発表に向けて意欲が高まるようする。

<協議の視点>

フィッシュボーン図を活用し、友達とのやり取りを通して発表内容を再検討・再構築したことは、伝える内容を整理し、発表内容を膨らませていく手立てとして有効だったか。

(3) 本時の評価と具体例

	十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
思 判 表	夢スピーチについて、事前に考えていた内容に新規に2種類以上の文を追加して、友達にくわしく伝えている。	夢スピーチについて、事前に考えていた内容に新規に1文を追加して、友達にくわしく伝えている。	夢スピーチについて、内容をどのように追加すると膨らむのか、英語表現を助言する。
態 度	夢スピーチについて、事前に考えていた内容に新規に2種類以上の文を追加して、友達にくわしく伝えようとしている。	夢スピーチについて、事前に考えていた内容に新規に1文を追加して、友達にくわしく伝えようとしている。	
具 体 の 姿	<p>In junior high, I want to study math. <u>I'm not good at math.</u> <u>I want to study math hard.</u> I want to join the volleyball team. <u>I can play volleyball well.</u> I want to enjoy sports day. <u>It's exciting.</u> I'm good at running. In the future, I want to be a nurse. <u>My mother is a nurse.</u> <u>She is kind.</u> <u>My hero is my mother.</u></p> <p>* 下線部⇒新規追加 (α)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: Please tell me more. B: It's exciting.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: Why do you want to be a nurse? B: My mother is a nurse. She is kind. My hero is my mother.</p> </div>	<p>In junior high, I want to study math. I want to join the volleyball team. <u>I can play volleyball well.</u> I want to enjoy sports day. I'm good at running. In the future, I want to be a nurse. * 下線部⇒新規追加 (α)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>A: Can you play volleyball well? B: Yes, I can. I can play volleyball well.</p> </div>	

(4) 板書計画

January 31st, Tuesday, snow **単元ゴール** ルーシー先生に中学校で頑張りたいことを夢スピーチにして発表しよう。
Today's goal ルーシー先生に自分のことをもっと知ってもらうために、
 友達とのやり取りを通して内容をパワーアップさせよう。

<学習の流れ>
前時の復習
ルーシー先生からのメッセージ
デモンストレーション
発表①
発表②
発表③⇒タブレット撮影
ふり返り

<伝え方>
Smile
Gesture
Eye contact
Clear voice

<質問>
Do you like ○○?
Why do you want to ~?
Please tell me more.

<答え方>
I like~.
I can~.
My hero is~.